



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月12日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 健雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 鈴木 祥司

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 052-683-3110

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,995	△6.4	28	35.0	98	6.8	△133	—
24年3月期第2四半期	20,293	△1.5	21	—	92	45.5	52	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△7.16	—
24年3月期第2四半期	2.83	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,659	—	11,945	—	—	81.5
24年3月期	14,752	—	12,060	—	—	81.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,945百万円 24年3月期 12,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00	
25年3月期	—	4.00	—	—	—	
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	40,000	△4.5	110	7.7	245	2.2	△50	—	△2.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	19,969,000 株	24年3月期	19,969,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,370,695 株	24年3月期	1,369,304 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	18,598,807 株	24年3月期2Q	18,600,962 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかな回復傾向が見られましたが、長期化する円高や欧州債務問題に加え、世界経済の減速懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、鮮魚を中心に天候不順による不安定な入荷状況が続き、前年度の魚価高による反動などから冷凍魚の荷動きが悪化し、消費者の低価格志向による市場内外での価格競争の激化も加わって、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもとで、当社は、環境の変化に対応した集荷、販売活動を展開するとともに、業績の向上と企業体質の強化のための諸課題に全力で取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、卸売部門が取扱数量の減少により減収となり、飼料工場が需要減退により大幅に減少したため、18,995百万円(前年同四半期比6.4%減)となりました。経常利益は、売上総利益率の改善と諸経費の削減により、98百万円(同6.8%増)となりましたが、特別損失に株価下落による投資有価証券評価損318百万円を計上したため、133百万円の四半期純損失(前年同四半期は四半期純利益52百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(卸売部門)

鮮魚は、天然ブリの豊漁、ホタテ貝柱、養殖アユなどの順調な入荷、生鮮キハダロインの需要増などによる売上増はありましたが、ウナギ、サンマ、アサリなどの取扱数量の減少、養殖ヒラメ、養殖タイの生産量の減少などが響き、減収となりました。冷凍魚は、刺身用トラウト製品、伸ばしエビ、アルゼンチン赤エビなどの荷動きが好調でしたが、冷カニ類、冷ギンダラなどの需要減に加え、冷チリ産銀サケの供給過剰による単価安が他魚種にも影響を及ぼし、減収となりました。塩干魚は、チリメンの良好な漁模様、イクラ、助子、開きサンマの拡販などによる売上増はありましたが、ウナギ蒲焼、ホッケの開きなどの取扱数量の減少に加え、鮭鱒が数量は伸びたものの単価安となり、減収を余儀なくされました。売上高は18,083百万円(前年同四半期比5.4%減)、営業利益は142百万円(同16.1%減)となりました。

(飼料工場部門)

魚粉販売は、水産向け魚粉がタイなど海面養殖魚の減少で売上減となり、委託加工品も伸び悩み、養鰻用飼料は、ウナギ稚魚の不漁により需要が減少するなど大幅な減収となり、売上高は448百万円(前年同四半期比34.9%減)、営業利益は40百万円(同2.6%増)となりました。

(食品加工部門)

さきいか商品は、“あたりめ”が量販店、問屋などで順調な販売となりましたが、ポット商品、ピロ商品などは少量小口化で伸び悩み、加えて原料高から低価格への対応が難しく、減収となりました。売上高は179百万円(前年同四半期比18.4%減)、営業損失は22百万円(前年同四半期は営業損失20百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

塩鮭鱒、鮮魚、青果貨物など市場内貨物の順調な入庫、鶏卵など場外貨物の搬入量の増加に加え、新規寄託者の獲得などにより増収となり、売上高は227百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益は18百万円(同4.9%減)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は57百万円(前年同四半期比0.9%減)、営業利益は31百万円(同3.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、14,659百万円となり、前事業年度末に比べ92百万円(0.6%)減少しました。これは主に、商品及び製品の増加283百万円、受取手形及び売掛金の増加56百万円などがありましたが、有価証券の減少200百万円、投資有価証券の減少175百万円、原材料及び貯蔵品の減少94百万円などによるものであります。

負債は、2,714百万円となり、前事業年度末に比べ23百万円(0.9%)増加しました。これは主に、受託販売未払金の減少32百万円などがありましたが、支払手形及び買掛金の増加132百万円などによるものであります。

純資産は、11,945百万円となり、前事業年度末に比べ115百万円(1.0%)減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加92百万円がありましたが、利益剰余金の減少207百万円などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動の結果、たな卸資産の増加等により20百万円、財務活動の結果、配当金の支払等により74百万円それぞれ減少となりましたが、投資活動の結果、投資有価証券の償還による収入等により128百万円増加となったため、前事業年度末に比べ33百万円(0.5%)増加し、当第2四半期会計期間末には6,645百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

下半期につきましても、長引くデフレ傾向が継続し、依然として厳しい状況が続くものと思われ
ます。

このようなもとの、当社は、出荷者、仲卸業者等との連携を密にして、質の高い情報の提供と企画提案を積極的に行うなど集荷、販売体制を強化し、管理面では、在庫、債権管理を徹底し、一層のコストの削減や人材教育などを実施するとともに、安全、安心に対する取組みを徹底するなど業績の向上と経営基盤の確立に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成24年8月10日に公表いたしました平成25年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日平成24年11月12日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,882,393	3,903,511
受取手形及び売掛金	1,938,414	1,995,010
有価証券	3,100,000	2,900,000
商品及び製品	609,942	893,482
仕掛品	33,526	29,672
原材料及び貯蔵品	453,069	358,857
その他	54,312	151,997
貸倒引当金	△11,738	△10,060
流動資産合計	10,059,919	10,222,471
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,253,282	1,213,145
その他(純額)	784,608	772,641
有形固定資産合計	2,037,891	1,985,786
無形固定資産		
	83,973	71,190
投資その他の資産		
投資有価証券	1,784,701	1,608,760
その他	824,382	808,360
貸倒引当金	△38,586	△36,599
投資その他の資産合計	2,570,498	2,380,521
固定資産合計	4,692,362	4,437,499
資産合計	14,752,282	14,659,970
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,463,269	1,595,711
受託販売未払金	195,583	162,985
未払法人税等	8,726	4,048
賞与引当金	61,000	52,000
役員賞与引当金	12,190	—
その他	240,753	238,071
流動負債合計	1,981,522	2,052,816
固定負債		
退職給付引当金	545,839	554,379
その他	164,026	107,620
固定負債合計	709,866	662,000
負債合計	2,691,388	2,714,817

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,565,992	10,358,352
自己株式	△660,763	△661,071
株主資本合計	12,401,000	12,193,053
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△340,107	△247,899
評価・換算差額等合計	△340,107	△247,899
純資産合計	12,060,893	11,945,153
負債純資産合計	14,752,282	14,659,970

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	20,293,505	18,995,601
売上原価	19,316,982	18,061,265
売上総利益	976,523	934,335
販売費及び一般管理費	955,278	905,655
営業利益	21,245	28,680
営業外収益		
受取利息	8,251	7,508
受取配当金	35,142	33,373
受取手数料	18,159	18,531
その他	9,568	10,780
営業外収益合計	71,122	70,194
営業外費用		
雑損失	217	439
営業外費用合計	217	439
経常利益	92,149	98,434
特別損失		
投資有価証券評価損	—	318,985
特別損失合計	—	318,985
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	92,149	△220,550
法人税、住民税及び事業税	2,099	2,045
法人税等調整額	37,363	△89,354
法人税等合計	39,462	△87,309
四半期純利益又は四半期純損失(△)	52,687	△133,241

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	92,149	△220,550
減価償却費	87,123	81,243
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,687	△3,665
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△12,190
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,500	△9,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,142	8,540
投資有価証券評価損益(△は益)	—	318,985
受取利息及び受取配当金	△43,394	△40,881
売上債権の増減額(△は増加)	△148,334	△54,523
たな卸資産の増減額(△は増加)	△513,421	△185,474
仕入債務の増減額(△は減少)	327,055	99,844
未払金の増減額(△は減少)	△21,250	26,215
未払費用の増減額(△は減少)	9,279	4,865
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	△20,484
その他	△39,116	△57,824
小計	△227,577	△64,900
利息及び配当金の受取額	43,046	41,341
法人税等の支払額	△3,981	△4,197
法人税等の還付額	7,450	7,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	△181,062	△20,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△134,500	△29,500
定期預金の払戻による収入	31,500	42,500
有形固定資産の取得による支出	△3,085	△29,055
無形固定資産の取得による支出	—	△4,261
投資有価証券の取得による支出	△1,246	△50,836
投資有価証券の償還による収入	—	200,000
その他	1,649	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,682	128,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△98	△307
配当金の支払額	△74,726	△74,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,825	△74,464
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△361,570	33,876
現金及び現金同等物の期首残高	6,352,806	6,611,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,991,236	6,645,131

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	19,106,374	689,199	219,387	220,512	58,031	20,293,505	—	20,293,505
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,466	—	1,952	48,048	—	63,468	△63,468	—
計	19,119,841	689,199	221,340	268,561	58,031	20,356,974	△63,468	20,293,505
セグメント利益 又は損失(△)	169,357	39,118	△20,203	19,950	29,984	238,207	△216,962	21,245

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△216,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	18,083,190	448,517	179,007	227,403	57,480	18,995,601	—	18,995,601
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,016	—	3,332	51,925	—	73,274	△73,274	—
計	18,101,207	448,517	182,340	279,329	57,480	19,068,875	△73,274	18,995,601
セグメント利益 又は損失(△)	142,009	40,132	△22,005	18,975	31,021	210,134	△181,453	28,680

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△181,453千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。